

## ふるさとふちゅう

## 再発見

## 【第63回】府中が農村だったころ（23） 府中町内の山（6）

日本の国土面積は3,780万haで、そのうち2,502万haが森林で、66.2%を占めています。令和6年度に発表された「府中町森林整備計画」によると、府中町の総面積1,041haのうち山林は429.71haで、41.3%です。

私有林が45%です。町有林の広さが目立ちます。江戸時代の藩有の森林である御建山や御留山などは、明治政府が明治6（1873）年に「山林原野等官民区分処分法」を施行し、官有林（後の国有林）となりました。ただ、江戸時代に年貢負担があった山や山林の育成に地域の人々の労力があつたことが証明できる場合などは民有林にされました。また地域の人々が共同で使った野山と呼ばれた入会山は民有で、多くは村有林、後に町有林となりました。



出典…『安芸府中町史第1巻』263ページ

府中町文化財保護  
審議会委員

菅 信博

山の名称は江戸時代と同じですが、今では忘れられた名称も多くあります。今回は、『安芸府中町史第1巻』に掲載されている名称を紹介します。鹿籠山・大谷山・観音山・千代山・鍋谷山・清水山・オノ峠山などです。その他は江戸時代の野山、町有林が多いです。

## 魅力発信！ まち記者レポート ふちゅうちゃんねる！

まち記者 荒井 大和 さん

「ふちゅうちゃんねる！」という、町の情報発信プロジェクトが立ち上がりました。このプロジェクトは、まちづくり座談会（府中町社会福祉協議会主催）で町の情報共有不足を解決するため、「ラジオを運営すると面白いのでは？」というアイデアから始まったものです。発信媒体はYouTube。みんなが知っているプラットフォームで、音声に画像を組み合わせて配信することにしたそうです。

ふちゅうちゃんねる！には、中央小コミュニティスクール・先生・保護者・SWEET（中央小読み聞かせボランティア）の他、大学生、児童センターバンビーズ、JF（中高生ボランティア）、安芸府中高校放送部など、地域の方々が参画されています。私たち高校生は、このプロジェクトの名前を考えたり、ポスターを制作したりしました。また、YouTubeで配信するための編集も行っています。

配信内容は町のイベント紹介やインタビューなど。中央小学区の枠を越えて府中町に関するあらゆることを月1回程度のペースで取り扱っていく計画です。そのため、メンバーがそれぞれ取材・録音をして、月1ミーティングで録音内容を聞きながら意見を出し合って番組を構成していきます。リスナーからの情報提供も受けたいとのことでした。

町の皆さんに聞いてもらいたい。目標はチャンネル登録者5万人でYouTubeが無くなるまでできる限り続けたいと意気込んでおられました。ふちゅうちゃんねる！が町全体で盛り上がってほしいなと思いました。

ふちゅうちゃんねる！  
公式YouTubeはこちら▶



メンバーの小濱さんに伺いました



児童センターバンビーズでの収録の様子